

作物の種類		つばき	453	1次必須項目										
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	新梢長	5本	測定	cm (小数第1位を四捨五入)									新梢が固まったときの基部から先端部までの長さ	
2	葉数	5本	測定	枚 (小数第1位を四捨五入)									新梢が固まったときの葉数	
3	葉形	5枚	観察		披針形	倒披針形	長楕円形	卵形	倒卵形	楕円形	広円形	不等変形	その他	新梢の中央部の葉で観察
4	葉の大きさ	5枚	測定		極小		小		中		大		極大	新梢の中央部の葉で測定 極小:1.9cm以下,小:2.0~3.9cm以下 中:4.0~6.9cm,大:7.0~9.9cm,極大:10cm以上
5	開花始	1株	測定	年 月 日									最初の花の開花時期	
6	開花終	1株	測定	年 月 日									最後の花の終了時期	
7	着花性	1株	観察				頂性		頂腋性		腋性			頂性:新梢の先端に1つ着花 頂腋性:先端及びその下方の葉腋に2~3つ着花 腋性:葉腋ごとに着花
8	花の地色	5花	観察										RHS (英国園芸協会) カラーチャート色票番号による	
9	花弁数	5花	測定	枚 (小数第1位を四捨五入)									完全花弁数を測定	
10	花径	5花	測定	cm (小数第2位を四捨五入)									満開時に測定	
11	雄ずいの形	5花	観察		筒しべ	茶せんしべ	閉じしべ	長筒しべ	割りしべ	散りしべ	梅しべ	輪じん	サザンカしべ	
12	花糸の色	5花	観察		白	淡黄	黄	濃黄	帯紅					
13	子房の毛	5花	観察	無			少		中		多			無:ツバキ、少:白化助程度、中:全体有毛、多:多毛のもの

作物の種類		つばき		453		1次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	樹形	1株	観察		叢性		横張性	普通	立性		枝垂性	こうてん性	その他	樹姿の樹冠及び枝の角度にて区別する	
2	樹高	1株	測定			姫性	わい性	ややわい性	普通		高性			樹齢5年以上の成木 姫性:0.3m以下,わい性:0.4~0.5m ややわい性:0.6~1.9m,普通:2.0~3.9m,高性:4m以上	
3	枝の太さ	1株	観察				細		中		太			乙女(ツバキ)、富士の峯(サザンカ)を基準品種として中とし、細、太を分ける	
4	萌芽回数	1株	測定		1回	2回	3回	4回	5回	6回				年間の頂芽の萌芽回数を調べる	
5	萌芽期	1株	測定	年月日									頂芽の萌芽の時期		
6	新枝の毛の有無・多少	1株	観察	無			微毛		中		多毛			無:ツバキ、微毛:ハルサザンカ程度、中:サザンカ程度、更に多毛と区分	
7	新梢の毛の持続性	1株	観察		夏に落ちない								夏に落ちる		
8	分枝性	1株	観察				疎		中		密			新枝の発生数における多少で推定	
9	節間長	1株	観察				短		中		長			全体的に平均2cm程度を中、1.5cm以下を短、2.5cm以上を長とする	
10	葉姿の変化性	1株	観察			変化なし		日照で変化		春夏の変化		変化多し		葉形及び葉の大きさの変化性を判断する	
11	葉姿	5枚	観察			平担	反曲	中折	縁の外曲	縁の内曲	波曲		その他	平坦、葉縁が外曲あるいは内曲する、波曲する、主脈に沿って中折れする、全体に反曲するなどを見る	
12	葉の先端の形	5枚	観察		鋭尖形	鋭形	鈍形	凸形	微凸形	金魚葉形			その他	葉の先端の形を見る	
13	葉脚の形	5枚	観察			鋭脚			鈍脚			円脚		葉脚が鋭いか、鈍いか、円いかをみる	

作物の種類		つばき		453		1次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
14	葉色	5枚	観察			淡緑	黄緑	緑	濃緑	銀緑	白斑	黄斑	黄金	斑入り葉（白斑）の場合は斑入り色名を指し記入	
15	斑の種類	5枚	観察			星斑	中斑	砂小斑	爪斑	覆輪	覆輪くずれ	ぼた斑	その他	斑入りの状態をみる	
16	葉の光沢	5枚	観察	無					少ない				有り	少ない：サザンカ、有り：ツバキ（乙女）の基準で判定する	
17	葉の厚さ	5枚	観察				薄い		中		厚い			葉の触感により比較する。ツバキ（乙女）を中心とする。サザンカ（富士の峯）：薄い	
18	葉縁の形	5枚	観察		全縁	ゆるい波状	鋭い細鋸歯	細鋸歯	鈍い細鋸歯	歯状縁	粗い鋸歯	欠刻縁	その他	鋸歯は粗いか細いか、鋭いか目立たないかを見る	
19	葉の表面の葉脈の明瞭さ	5枚	観察				透明		半透明		不透明			透明：葉脈まで明らか、半透明：側脈まで明らか、不透明：主脈のみのもの	
20	葉の裏面の葉脈の明瞭さ	5枚	観察				透明		半透明		不透明			透明：葉脈まで明らか、半透明：側脈まで明らか、不透明：主脈のみのもの	
21	葉脈の凹凸	5枚	観察				凹		平		凸				
22	葉脈の模様	5枚	観察		単純								複雑	単純：葉脈が粗い、複雑：葉脈が細かい	
23	葉柄の長さ	5枚	測定				短		中		長			短：0.4cm以下、中：0.5～0.9cm、長：1.0cm以上	
24	葉柄及び葉の毛	5枚	観察	無			葉柄に少し	かなり多い	葉に毛なし	葉表に毛あり	葉裏に毛あり	葉裏にコルク質	全体に毛多し	若葉について調べる	
25	花形の変化性	5花	観察				少ない		変り易い		多く変わる			蕾より開花までの花形の変化性をみる	
26	八重咲性	5花	観察				一重咲				八重咲		千重咲		

作物の種類		つばき		453		1次選択項目												
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等				
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9					
27	一重咲の花型	5花	観察		筒咲	ラッパ咲	猪口咲	盃状咲	抱え咲	平開咲	星咲	椀咲	その他	観賞期の最もよい時にその花形を判定する				
28	八重咲の花型	5花	観察		八重咲	レンガ咲	二段咲	牡丹咲	獅子咲	アネモネ咲	変化咲	抱え咲	その他	観賞期の最もよい時にその花形を判定する				
29	千重咲の花型	5花	観察		千重咲	宝珠咲	列弁咲	ばら咲	らせん咲	唐子咲			その他	観賞期の最もよい時にその花形を判定する				
30	花の向き	1株	観察				下向		横向		上向			花全体の70%以上の花の向きで記入				
31	花色区分	5花	観察		単色								複色	単色と複色（斑入り、絞り）の区分				
32	内側の花弁の色	5花	観察		白	淡桃	桃	紅桃	紅	紫紅	濃紅	黒紅	その他					
33	複色花の区分	5花	観察		絞り	その他の斑												
34	絞りの区分	5花	観察		吹かけ絞り	小絞り	縦絞り	筋入り						白地に現れる紅の条斑をみる				
35	絞りの色	5花	観察		白	淡桃	桃	紅桃	紅	紫紅	濃紅	黒紅	その他					
36	その他の斑の区分	5花	観察		雲状斑	横杓	点斑	底が濃い	覆輪	ぼかし	底白	底紅	その他	紅地の花に現れる白斑の形と大きさをみる				
37	斑の色	5花	観察		白	淡桃	桃	紅桃	紅	紫紅	濃紅	黒紅	その他					
38	外花弁の形	5花	観察		丸形	倒卵形	卵形	楕円形	長形	へら形				花弁の外弁で判断し記入する				
39	弁脈	5花	観察	無		少しあり	明確							花弁に現れている脈の有無				
40	弁縁の形	5花	観察		丸	桜弁	凹み	波状	縮弁	鋸歯	折れ	深い切り込み	その他	外弁の正常花弁のみ記載				

作物の種類		つばき		453		1次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
41	内花卉の形	5花	観察		外弁と同じ	順次小さくなる	細弁	唐子弁	大唐子弁	雄しべ混合	大形弁	立弁		外弁と内弁の変化性を記す	
42	外花卉の曲り方	5花	観察		平滑		波曲		内曲		外曲			外弁の形状を記入	
43	花卉の厚さ	5花	観察				薄い		やや厚い		厚い				
44	蕾の形	5花	観察			円形		円尖形		長尖形		長楕円形			
45	花糸の数	5花	測定	無	退化		少		中		多			少：49本以下、中：50～99本、多：100本以上	
46	葯の色	5花	観察		白色	淡黄色	黄色	濃黄色	黄褐色						
47	花卉と雄ずいの癒着	5花	観察	しない									する	癒着しない：サザンカ、癒着する：ツバキ	
48	子房の室数	5花	観察		1	2	3	4	5	6	7	8	9以上	子房の切断面で観察し記入	
49	雌ずい／雄ずいの長さ	5花	観察				短い		同長		長い			短い：雌ずいが雄ずいより短い、同長：雌ずいが雄ずいと同長、長い：雌ずいが雄ずいより長い	
50	雌ずいの退化	5花	観察		退化していない								退化している		
51	蕾時の雌ずいの露出	5花	観察		露出しない								露出する	蕾を観察する	
52	花柱の分裂数	5花	観察	無		2	3	4	5	6	7～8	9以上		完全なる雌ずいの分裂数。不完全なものは記入しない	
53	花柱の分裂の程度	5花	観察	無		花頭のみ	1/4	1/3	1/2	ほぼ全裂				雌ずいの長さに対するの分裂の長さ	
54	花柱の毛	5花	観察	無		微毛	少しあり				多				

作物の種類		つばき		453		1次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
55	さく果の形	5果	観察			円形		楕円形		洋なし形	ひょうたん形	横楕円形	その他		
56	さく果の大きさ	5果	測定		極小		小		中		大		極大	極小：径0.5cm以下、小：1cm内外、中：2cm内外 大：3～4cm、極大：5cm以上	
57	さく果の厚さ	5果	観察				薄い				厚い		特に厚い		
58	花梗の有無及び長さ	5花	観察	無			短い				長い				

作物の種類		つばき	453	2次必須項目										
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	耐凍性	3本	観察		極弱		弱		中		強		極強	-9℃2時間の人工処理後、室温条件下に2日おき、被害程度で判定
2	花粉稔性	100個	測定	% (小数第2位を四捨五入)										酢酸カーミンなどの染色による顕微鏡観察

作物の種類		つばき		453	2次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	耐病性	1株	観察				弱		中		強			ほ場での花腐れ病、もち病、炭そ病等病害の自然発病程度で判定
2	チャドクガ等抵抗性	1株	観察				弱		中		強			ほ場での被害程度で判定
3	耐暑性	1株	観察				弱		中		強			ほ場での高温による障害の程度で判定
4	耐乾燥性	1株	観察				弱		中		強			ほ場での乾燥による障害の程度で判定
5	自家不和合性	50花	測定	% (小数第2位を四捨五入)										自家人工交配による結果調査 (種子の入った結果率)
6	染色体数	1株	測定											根端細胞 (2n) または花粉母細胞 (n) での染色体数を顕微鏡下で計測 (2nで表示)
7	結実性	1株	観察	無			まれ		中		多い			樹に着果している果実の数をみて判定

作物の種類		つばき		453	3次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	花の香り	5花	官能検査	無		微						強		無風時に鼻で判断
2	挿し木発根性	10本	測定				低		中			高		新梢の固まった時期に挿し木を行う。発根した本数や根の長さから判定。

作物の種類		つばき	453	3次選択項目										
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	移植適応性	5株	観察				低		中		高			移植後の活着程度で判定
2	刈り込み適応性	5株	観察				低		中		高			刈り込み管理に対する適性（不萌芽や枯れ込み）の程度
3	促成開花性	5株	観察				低		中		高			開花調節による促成開花能の程度
4	わい化剤による花芽分化促進能	5枝	観察				低		中		高			植物生育調節剤による花芽分化促進能の程度